

◆まちづくり地域優良事例集◆

花園まちづくりセンター

池田ふれあいランチ事業

〈取り組みの内容〉

地域で一人暮らしをしている高齢者を対象に、見守りや安否確認、健康管理などのため、毎月2回、手作りのお弁当を宅配するものです。1食は400円で、献立作り、調理、配達までを地域のボランティアが行っており、毎回約200食をお届けしています。

〈取り組みで工夫にしていること〉

「できる人が できるところで できることを無理なく」をモットーに、登録したボランティアの、その時来られる方が来て活動する、というスタイルで運営しています。あえて役職は設けず、ゆるやかにできるからこそ、30年も続いてきたと思います。献立は毎月第1金曜日に考え、第2・第4金曜日に配食。配食の日はだいたい30人くらいの方が集まって調理をし、配達をしてくれる人も入れると、全部で60人くらい関わっています。調理は朝9時から、配達は午後3時半くらいからです。

〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

平成元年に「高齢化社会を迎えるにあたり、見守りの一番良い方法は配食なのでは」という話が出ました。お弁当屋さんと契約する案もありましたが、自分たちでやってみよう、とアンケートを取ったところ、ニーズと協力者のバランスがちょうど釣り合っていたので、1年半の準備期間を経てスタートしました。初めは花園市民センター（現・花園まちづくりセンター）で調理等を行っていましたが、平成14年からは、池田地域コミュニティセンターに拠点を移して活動しています。



〈活動の原動力〉

この活動は、単なる配食ではなく「安否確認」という重要な役割を担っています。なので、応答がないからといって玄関先に置くのではなく、必ず対面で手渡しする、ということを大切にしています。実際に、ご自宅で具合が悪くなられていた方を配食のスタッフが発見したことで、大事に至らずに済んだということもありました。“地域の見守り”という使命感もあります。

〈今後の課題〉

若い世代の方で活動に携わりたいという方がいたら、ぜひ一緒にやっていきたいです。道具も準備していますし、調理とか、配食とかの方法をひとつずつお伝えしていきます。活動のカタチは変化していくかもしれないけれど、大切なことは守りながら、この事業が続いてほしいと思っています。



池田校区社会福祉協議会
会長 吉村 次郎 さん

池田校区地域福祉委員会
委員長 丸山 和子 さん